

賛成討論 重森一宗議員

本町の要の産業は第１次産業であり、農林業の振興に取り組まなければならないのは当然である。中でも農業は国や県の施策として、現在までゆず加工施設など様々な事業に多額の投資をしてきた。しかしながら、林業については昭和39年に木材の自由化により、価格は低迷の一途をたどり衰退した。このため本町唯一の最大の資源である森林からの地域再生の核として、山元の財産（資源）であるこの木材を高価格で還元するため、高知おおとよ製材を誘致し現在操業している。一方、県ではＣＬＴ製造工場設置に取り組んでおり、本町も積極的に誘致に努力をしている。加えてバイオマス発電所の計画もあり、チップ工場の誘致に伴い先の臨時会で、関連事業の予算も議決され、既に着工されている。この予算は林業の活性化により、地域を元気にすることができるとともに、林業関係以外の予算も適切であり賛成する。

特別会計（賛成・全員）

会 計		本年度予算額	前年度当初予算額	比 較
一 般 会 計		47億2,379万 4 千円	40億599万 4 千円	7 億1,780万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	7 億8,835万 3 千円	7 億7,353万 7 千円	1,481万 6 千円
	介 護 保 険	6 億4,440万 3 千円	6 億7,946万 5 千円	△ 3,506万 2 千円
	後期高齢者医療	1 億25万 8 千円	1 億109万 8 千円	△ 84万円
	簡 易 水 道 事 業	1 億589万 7 千円	1 億2,989万 8 千円	△ 2,400万 1 千円

一般会計

主な財源（歳入）

- ◇地方交付税
前年度比0.4%・8,000万円減の19億7,000万円。
- ◇臨時財政対策債
前年度比0.4%・600万円減の 1 億3,740万円。
- ◇町税
前年度比4.4%・199万 4 千円減の 3 億4,339万 9 千円。
- ◇国庫支出金
臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金、地震対策空き家活用促進事業費補助金及びへき地児童生徒援助費等補助金の皆増、社会資本整備総合交付金等の増により、前年度比48%・6,759万 4 千円増の 2 億849万 8 千円。
- ◇県支出金
木材加工流通施設整備事業費補助金及び木材加工流通人材育成対策事業費補助金、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業推進交付金等の皆増、緊急雇用創出事業費補助金等の減により、前年度比56.3%・ 2 億2,403万 5 千円増の 6 億2,210万円。
- ◇財産収入
預金利子等の増により、前年度比23.2%・593万 6 千円増の3,156万円。

主な使いみち（歳出）

- ◇人件費
職員の減及び異動による給料及び手当の減により、前年度比0.04%・38万円減の 8 億6,585万 3 千円。

- ◇物件費
番号制度導入委託料及び拠点観光施設管理委託料等の増により、前年度比2.9%・1,898万 1 千円増の 6 億6,644万 8 千円。
- ◇扶助費
障害者自立支援給付費の増により、前年度比4.2%・1,101万 7 千円増の 2 億7,156万 1 千円。
- ◇補助費
臨時福祉給付金、有害鳥獣対策事業にかかる報償費等及び林業担い手育成事業費補助金等の増により、前年度比4.1%・3,244万 7 千円増の 8 億2,370万 2 千円。
- ◇普通建設事業
集落活動センター建設工事、旧21世紀センター等解体工事費、木材加工流通施設整備事業費補助金及び100年の森づくり整備事業費補助金の皆増により、前年度比267.3%・ 7 億1,549万 4 千円増の 9 億8,321万 6 千円。
- ◇貸付金
大豊町森林組合貸付金1,900万円の皆増。
- ◇投資及び出資金
大豊町森林組合出資金2,100万円の皆増により 2,111万円。
- ◇積立金
過疎地域自立促進特別事業基金積立金等の減により、前年比11.8%・1,490万 8 千円減の 1 億1,183万 6 千円。
- ◇繰出金
簡易水道事業特別会計繰出金等の減により、前年度比7.8%・2,333万 6 千円減の 2 億7,633万 3 千円。

第 448 回(平成 26 年 1 月)臨時会

1 月28日開会、会期は 1 日間。平成25年度一般会計補正予算を可決し閉会した。

平成25年度補正予算(賛成・全員)

会 計		補正額	補正後の額
一 般 会 計 (第 6 回)		877万 5 千円	46億6,617万 5 千円

第 449 回(平成 26 年 3 月)定例会

3 月 7 日開会、3 月18日までの12日間の会期、町長提出の平成26年度当初予算をはじめ、平成25年度一般会計・特別会計補正予算、条例など25件を可決、指定管理者の指定、人権擁護委員候補者の適任、議会議員派遣に関する決議、意見書 3 件可決し、継続審査・調査付託を決定の上、閉会した。

平成25年度補正予算(賛成・全員)

会 計		補正額	補正後の額
一 般 会 計 (第 7 回)		△ 3,968万 2 千円	46億2,649万 3 千円
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計 (第 3 回)		193万円	7 億9,165万 5 千円
介 護 保 険 特 別 会 計 (第 4 回)		153万円	7 億37万 1 千円

一般会計補正予算（第 7 回）

主な財源（歳入）

- ◇国庫支出金
森林環境保全整備事業補助金250万円の計上。
- ◇県支出金
中山間地域生活支援総合補助金500万円、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業推進交付金461万 5 千円、新規就農研修支援事業費補助金340万円他を減額。
- ◇繰入金
財政健全化基金繰入金4,985万円を減額。

主な使いみち（歳出）

橋梁点検委託料500万円、木造住宅耐震改修事業費補助金360万円、元気な町づくり基金積立金221万 3 千円等の増額。ゆとりすと放送業務の情報告知機器使用料及び保守運用委託料等として587万 4 千円、簡易給水施設整備事業の工事費等750万円、有害捕獲等個体調整対策事業費報償金459万 9 千円、がけくすれ住家防災対策工事費384万 2 千円、災害復旧事業費1,624万 8 千円他を減額。

平成26年度当初予算

一般会計（賛成 8 ・反対 渡辺則夫）

討 論

反対討論 渡辺則夫議員

平成26年度予算の投資的経費の大部分は林業関係である。平成26年度から 3 年間にわたり、債務負担行為を含め、約18億円にのぼる森林組合への補助金を交付する計画である。事業主体である森林組合で、今後の事業に対する有益性や必要性が十分議論され、町に示されたものとは考えられない。森林組合が直接原木市場を運営すれば市場手数料も減額され、山元に還元されるということも明確でない。森林組合での十分な議論と具体的な計画が不可欠と考え、今回の提案の予算は時期尚早であり反対する。